

【学校教育目標】 夢に向かって 自ら学ぶ 豊かで たくましい生徒

黒西中だより

TEL 048-768-5454

心のホット相談室 TEL 048-764-1110

<http://kuronishichu.style.coocan.jp/>



第 8 号

令和 6 年 12 月 1 日

生徒数		
1 年	85 名	3 学級
2 年	83 名	3 学級
3 年	92 名	3 学級
4 組	3 名	1 学級
5 組	2 名	1 学級
合計	265 名	11 学級

「失敗から成長へ」～広島 新井監督から学ぶ～

校長 檜田 光東

夕暮れが早まると共に寒々とした空が広がる日が増えてきました。部活動だけでなく、生徒会本部役員や委員会委員長も三年生から二年生にバトンタッチとなり、二年生が学校のリーダーとして活躍していく時期となりました。定期テストも終え三学期のまとめに向けて、子ども達は日々、落ち着いて学校生活を送っています。夜が長くなるこの季節に、家庭での学習時間の充実についてご家庭でもご協力いただけますと幸いです。

今年のセントラル・リーグは最後まで混戦を極めたペナントレースでした。その中で私が応援する広島の9月5日（木）横浜との敗戦が強烈に印象に残っています。広島は巨人との熾烈な首位争いの中、4位横浜が5連勝し3位阪神に追いつこうとしている時でした。6回までで広島の床田投手が横浜打線に打たれ0対2で横浜リード。横浜のケイ投手は広島打線を0点に抑える好投。このまま終わるかという雰囲気の中、広島は7回代わった投手から小園選手が、8回に菊池選手がタイムリーを打ち2対2の同点。打力が今ひとつの広島にとってはかなりのがんばり！その後、お互い抑えのエースが踏ん張り試合は2対2のまま延長戦へ。11回表広島の攻撃。ツーアウトランナー無しから上本選手がライト前ヒット、続く小園選手がライト線深くに奇跡の勝ち越しのタイムリーツーベース。広島3対2と逆転。11回裏の横浜の攻撃を0点に抑えれば広島の劇的逆転勝利。11回裏、広島新井監督は横浜3番の左打者佐野選手に左の塹江投手を起用。初球インコース低めに打者が思わずよける位の威力のある力強いストレート。二球目も威力のあるストレートに佐野選手が打ちにいくとまるで漫画のようにボールはバットを真っ二つに粉碎。しかし打球は力負けせずショート後方へとレフト前へ気迫のヒット。ノーアウト一塁。新井監督はここで塹江投手をワンポイントで交代。強力な右打者3人が続く横浜打線に松本竜也投手という若手の右投手を起用。打者はオースティン。渾身のストレートが何球か際どいところへ。しかし判定はことごとくボール。ファウルで粘られ結局四球。ノーアウト一・二塁。続く牧選手。勝負強くボール気味の外角へのカットボールをやや泳ぎながらもレフトへタイムリーツーベース。苦勞して逆転したのもつかの間、あっという間に追いつかれ同点。なおもノーアウト二・三塁、横浜は一打サヨナラのチャンス。続く宮崎選手は申告敬遠でノーアウト満塁。松本投手はなかなか空振りが取れない苦しいピッチングでしたが、ここで踏ん張り続く2人をショートフライ、セカンドゴロと打ち取ってツーアウト満塁。後一人アウトを取ればこのピンチから脱出という場面。

次の打者は途中出場の捕手右打者伊藤選手。その初球、松本投手の投げたボールは変化球がすっぽ抜けて真ん中高めに大きく外れました。私は素人ながらも「これはまずい。」と思いました。渾身のストレートは空振りが取れずファウルでカットされ続け、際どいところへいってもボール判定がずっと続いている状況でした。この初球すっぽ抜けは、本来、低めに変化球を投げたかったのだと思いますが、指がボールに引っかかりすぎてワンバウンドで暴投、捕手後逸、サヨナラ負けを避けたいという心理が働いたのでしょうか。このすっぽ抜けが打者を俄然、有利にさせてしまったようでした。その後、ツーボール・ワンストライクとなり四球目も外れてスリーボール・ワンストライク。打者の伊藤選手は捕手です。「ストライクを取るのに苦勞している。次のボールが仮にど真ん中ストライクでスリーボール・ツーストライクになったとしてもまだ自分が有利。次は見逃しだ。」と投手心理を読んでいたに違いありません。そして松本投手が投げた五球目は渾身の内角高めストレート。際どいところではありましたが外れ判定はボール。逆転サヨナラの押し出しの四球。広島にとっては痛恨の逆転サヨナラ負け、横浜にとっては劇的な逆転サヨナラ勝ちとなった試合でした。私は負けた瞬間、すぐにテレビを消してしまいました。

翌日、SNSのニュースの一文を見て私はテレビをすぐ消したことを後悔しました。というのは「広島は逆転サヨナラ負けを喫した松本竜也投手をベンチ前で総出で迎え・・・。」とあったからです。「勝ったDNAは押し出し四球を選んだ伊藤選手を選手がベンチ前で総出で迎え」ならわかるのですが、「松本竜也投手を総出で迎え・・・。」とは？私ははっとしました。「そうだ、これが広島だ。」際どいボールをことごとくボール判定され、渾身のストレートはことごとくファウルでカットされ、変化球もなかなか決まらない。最後はど真ん中ストレートで打たれてサヨナラということであればまた違うのですが、意地になって投げたようなストレートが外れてサヨナラ押し出し四球を与えてしまった投球は、若い松本竜也投手の自滅であり「独り相撲」と言われてもしかたがないでしょう。しかし、その松本投手を広島の選手は動画で私も後で見ましたが、ベンチ前で選手総出で迎えねざらっていました。松本投手は相当悔しかったのでしょうか。良くないことではありますがベンチの中でグラブを叩きつけていました。広島にとっては痛い敗戦となりましたが、若い松本竜也投手に「このしびれる場面を経験して次の登板につなげて欲しい。」という新井監督の気持ちは伝わったと思います。本人もあのような緊迫した一軍の試合の場面で投げたことはなかったでしょう。同じような場面でまた登板の機会があったら、無論、打ち取れば自信となるでしょう。また負けたとしても渾身のストレートをはじき返されたり、外角低めの変化球がワンバ

ウンドで暴投になったりしての敗戦であれば、この経験が生かされ一步成長した松本投手がそこにいるだろうと私は思います。「目の前の一勝よりも一人の若手の成長を優先させた。」そんな新井監督の懐の深い采配だったと思います。「明らかに失敗した若手を組織全員で温かく迎えることができる。そんな組織をつくることができれば、若手はどんどん成長していくだろう。」と私は校長として、組織の長として改めて思いました。

保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動に対して、多大なるご理解とご支援とご協力をいただきして、大変にありがとうございます。今後どうぞよろしく願いいたします。

任命式・本部役員引継式

11月18日(月)に、任命式・本部役員引継式がありました。後期の専門委員長と各学級の学級委員、副学級委員、生徒会本部役員に校長先生から任命書が手渡されました。前期は専門委員長が3年生でしたが、後期は2年生になります。専門委員長だけでなく、いろいろな場面で、3年生に代わり、学校のリーダーが2年生に受け継がれていきます。また、各学級の学級委員、副学級委員は、学年や学級の中心となって活躍することになります。自分に与えられた仕事に責任をもって取り組んでください。

今まで学校の中心となって活躍してくれた旧本部役員から、10月に生徒会本部役員選挙で選出された新本部役員に仕事を引き継ぐ引継式も同時に行われました。新本部役員の皆さんが、全校生徒の前で、抱負を語っていました。自分の考えをしっかりと持ち、黒浜西中のために頑張ってもらいたいと思います。

新たに学校、学年、学級のリーダーになった皆さんの活躍を期待しています。



12月の行事予定

完全下校時刻 16:40

日	曜日	給食		日	曜日	給食	
1	日			17	火	有	3年第2回進路学習会
2	月	有	生徒会朝会 集金袋配付 ⑤キャリアパス記入	18	水	有	
3	火	有	集金日(朝練習中止)	19	木	有	
4	水	有	専門委員会	20	金	有	給食終了・4h授業
5	木	有		21	土		
6	金	有		22	日		
7	土			23	月	無	3h授業 ①②学年集会・学活 ③大掃除
8	日			24	火	無	終業式 3年通知書配付 ふれあいデー
9	月	有		25	水		冬季休業日 午前:3年通知書問合せ 午後:問合せに対する通知書再交付
10	火	有		26	木		
11	水	有	2年保護者会	27	金		
12	木	有		28	土		
13	金	有	1年スキー林間学校しおり学習会	29	日		
14	土			30	月		閉庁日
15	日			31	火		閉庁日
16	月	有	⑤避難訓練				